

企業的園芸支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H30 年度
		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				□ 県単	■ 補助金			
関連する県の計画等			[ふくいの農業基本計画]				□ その他	□ その他			
[事業目的]											
本県の園芸生産を拡大するため、新たに企業的農業経営を行う農業法人や一般法人に対して助成し、本県農業の活性化を推進する。											
[事業内容]											
1 企業誘致および企業的経営体の経営指導経費（事業主体：県） 企業誘致のための企業訪問や展示会出展ならびに企業経営確立のための指導・支援 2 農業法人等が企業的経営を確立するための経費（事業主体：農業法人、一般法人） ①企業的経営を確立するためのソフト事業（補助率1/2） ・技術研修、マーケット調査、独自の商品開発 等 ②企業的経営を確立するために必要な機械・施設等整備（補助率【一般型】1/2, 1/3, 2/10 【周年施設園芸型】2/10, 3/10） ・栽培機械、施設 ・出荷調製施設 ・農産物加工施設 ・直売施設 ・用地取得、造成 等											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		235,050	203,610	500,410	461,661	272,715	392,310	230,916	H27 一般法人に対する補助率、採択数の見直しによる減 H28 過去採択分の事業完了による減 H29 過去採択分の計画変更による増		
2月現計予算額の推移		271,909	321,490	415,798	250,203	34,169					
決算額の推移		270,353	308,780	388,079	243,113						
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	当該事業採択企業（H23以降分）の園芸産出額（千円）	(目標) 実績							当該事業による増加額 10.5億円（H22 0億 → H35 10.5億）		
		39,365	341,396	465,258	746,888						
活動指標	事業採択数	(目標) 実績	(3) 2	(3) 5	(3) 4	(2) 2	(2) 2	(2) (2)	平成27年度～ 採択数 年間2箇所		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、農業法人、一般法人			
予算額	392,310	274,617			117,693	事業実施方法		直営、補助			
						補助率		2/10～1/2			

事業評価

事業名	企業の園芸支援事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>企業的に露地園芸や施設園芸、周年施設園芸に取り組む農業法人や一般法人を誘致・支援し、園芸産地の育成、産出額拡大、雇用創出を図る。</p>							
[受益者] 農業法人、一般法人				[想定される受益者数] 21法人（23～26年度までの採択数13箇所＋27年度以降採択予定数8箇所（2箇所×4年））			
他県の状況	<p>【石川県】 雇用拡大関連企業立地促進補助金 ・植物工場や食品製造工場設置に対する支援 対象：土地、家屋および償却資産の取得、 県外からの移転費、電気施設設置費 補助率：5%～20% 上限：10億円</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 坂井丘陵企業的園芸拡大事業 （実績） 平成17年度～平成22年度に11法人を採択				
関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	各市町も県事業に連動した上乘せ補助や植物工場に対する企業誘致制度の適応事例もあり。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
27年度は坂井北部丘陵地で露地園芸を中心に取り組む法人1社と植物工場を規模拡大する法人1社を支援。 28年度は坂井北部丘陵地で露地園芸に取り組む法人1社の規模拡大と美浜町に進出する植物工場を経営する法人1社を支援。 今後も企業的経営による園芸生産の拡大が期待できる。		変更なし		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

砂丘地園芸産地育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	■ 国庫 ■ 県単 □ その他	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]									
[事業目的]												
ラッキョウやミディトマト、メロンなど高品質な作物が生産される三里浜砂丘地において新規農家の参入を促し、全国に売り出す園芸品目の生産を拡大する。												
[事業内容]												
1 高糖度ミディトマト、メロンの大規模栽培を推進（事業主体：JA福井市、JA花咲ふくい 補助率：国1/2） ・JAが耐候性ハウスを整備し、新規参入者や規模拡大農家へリース 2 新規農家の参入を支援（事業主体：三里浜砂丘地営農推進協議会 補助率：県1/2） ・貸付可能畑の把握と新規参入者の確保 3 新規参入農家に貸し付ける農地の優良化（事業主体：三里浜特産農協、土地改良区 補助率：国1/2、県1/5） ・遊休農地を堆肥投入等により短時間で優良化 ・防砂ネット、スプリンクラーの設置												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移			47,730	157,530	171,540	55,330	68,651		H27当初予算のうち3,662千円は26.2月補正【経済対策】			
2月現計予算額の推移			35,660	88,942	134,390	40,021						
決算額の推移			33,094	84,900	101,374							
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	砂丘地における生産額 (億円)	(目標)		(8.1)	(9.1)	(10.2)	(11.2)	(12.3)	当該事業による増加額 6.4億円 (H24 7.2億 → H32 13.6億)			
	実績	7.2	7.7	8.1	9.4							
活動指標	農地優良化後の施設園芸 団地、露地園芸拡大 (ha)	(目標)		(10.0)	(15.8)	(21.7)	(27.6)		平成29年までに27.6ha(累計) (国への補助金交付計画書による)			
	実績	4.2	12.5	20.2								
新規農家参入(人)	(目標)			(3)	(5)	(7)	(9)	(11)	平成32年までに16人(累計)			
	実績	1	5	9								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	JA等					
予算額	68,651	65,544			3,107	事業実施方法	補助					
						補助率	事業区分による(国1/2、県1/2、県1/5)					

事業評価

事業名	砂丘地園芸産地育成事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>九頭竜川パイプラインの稼働による全面通水を契機に、これまで砂丘地の園芸生産を阻害してきた農業用水の塩水化や冬期間の用水不足が解消され、安定した生産が可能になることから、耐候性ハウスや省力機械の導入により基幹品目（ラッキョウ、ミディトマト、ニンジン、メロン、コカブ等）の生産拡大を図る。</p> <p>また、排水性が優れる砂丘地土壌を活かして、ミディトマトやメロンなどの高品質フルーツ産地を育成し、砂丘地全体の園芸産出額を拡大する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
砂丘地への新規参入者や規模拡大する農家				農家戸数 約290戸			
他県の状況	北陸3県の中で、砂丘地で園芸生産のある石川県では下記のような園芸振興の事業があるが、砂丘地に特化した事業制度はない。 【石川県】 ・農業機械施設整備支援事業 担い手の経営規模の拡大や複合化、園芸産地の生産力強化や実需者ニーズ対応等に必要な機械及び施設の導入に対して支援（補助率：1/3以内）			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 園芸産地総合支援事業 (役割分担) 国庫補助の対象にならない農業機械の導入支援は、県単の園芸産地総合支援事業で対応 ・JAが省力機械を整備し、新規参入者等へリース ・集落営農組織が機械を整備し、大規模栽培を開始			市町との連携状況	農地の優良化に関しては、坂井市が1/4補助 生産施設の導入に関しては、福井市、坂井市が1/10～2/10補助		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
27年度は三里浜砂丘地営農推進協議会において農地情報管理や就農相談を実施した結果、4名の新規就農者と2名の就農予定者を確保することができた。 また、JA等による土層改良や防風ネット、ハウス等の整備により7.7haの遊休農地を解消することができ、園芸産出額も約1.3億円拡大した。		変更なし		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

収益性の高い水田農業経営確立支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	■ 国庫 ■ 県単 □ その他	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 H31 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]								
[事業目的]											
小規模経営体を含めた営農の広域化と規模拡大に併せた園芸導入を支援し、収益性の高い農業経営への転換を推進する。											
[事業内容]											
1 経営力の向上〔推進事業〕 農業経営力向上塾の開催、法人化啓発セミナー・専門家派遣の実施 2 営農の広域化〔推進事業〕 大規模化研修会の開催、経営計画作成、オペレーター育成指導等に対する支援（事業実施主体：JA福井県中央会）（補助率：1/2） 3 営農の広域化〔整備事業〕 小規模経営体をカバーし40ha規模以上の営農の広域化を図るための機械装備に対する支援（補助率：1/3） 4 規模の拡大〔整備事業〕 40ha規模以上の経営に向け10ha以上の規模拡大かつ園芸導入を図るための機械装備に対する支援＜新規育成含む＞（補助率：1/3） 5 園芸への転換〔整備事業〕 所得500万円の確保に向け園芸生産に取り組むための機械整備に対する支援（補助率：1/3）											
[予算額の推移等] （単位：千円）											
区 分			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	主な増減理由	
当初予算額の推移					260,407	243,980	224,113	60,266	26,666	（新規採択はH31まで）	
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	目標・指標の考え方・積算根拠	
成果指標	集落営農組織等への 農地集積率（%）	（目標） 実績	(72.5) 73.0	(75.0)	(77.5)	(80.0)	(80.0)			集落営農組織等への農地集積率 80%	
	園芸産出額（億円）	（目標） 実績			(1.4)	(3.4)	(5.3)			当該事業による増加額 5.3億円	
活動指標	事業実施主体数 （広域化・規模拡大）	（目標） 実績			(20)	(23)	(23)				
	事業実施主体数 （園芸への転換）	（目標） 実績			(8)	(16)	(16)				
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、JA中央会、集落営農組織等				
予算額	260,407	12,172			248,235	事業実施方法	直営、補助				
						補助率	県1/2、1/3				

事業評価

事業名	収益性の高い水田農業経営確立支援事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>現在進めている集落営農組織等への農地の集積を維持するとともに、今後、地域水田農業を継続的に発展していくためには、専従者や雇用の確保による経営基盤の強化を図ることが必要である。</p> <p>このため、小規模経営体をカバーする営農の広域化や、規模拡大と併せた園芸生産の取り組みを推進する。</p>							
[受益者] 集落営農組織等				[想定される受益者数] 66組織等（広域化、規模拡大）、40組織等（園芸転換）			
他県の状況	<p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業機械施設整備支援事業 担い手の経営規模の拡大・複合化、園芸産地の生産力強化や実需者ニーズ対応等に必要な機械・施設の導入に対して支援（県：1/3以内） <p>【富山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> とやま型農業成長戦略チャレンジ事業 地域のモデルを目指して農業所得拡大に取り組む経営体の育成や、規模拡大のための農業用機械等の整備を支援（県：1/3以内） 1億円産地づくり支援事業 大規模園芸産地づくりを促進するため、水田フル活用の推進や機械・施設等整備に対して支援（補助率：1/3以内） とやまの園芸規模拡大チャレンジ事業 「1億円産地づくり支援事業」の対象とならない産地や品目において、生産者組織等の園芸部門の拡大や新規導入を支援（補助率：1/3以内） 	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 水田農業大規模化・園芸導入事業 （実績） 規模拡大や新たな組織化、園芸導入に必要な機械・施設等の整備について集落営農組織等に対し支援し、営農規模や園芸作付の拡大を促進した。 【実績】 H26:25組織（水田関係） 17組織（園芸関係） H27:23組織（水田関係） 29組織（園芸関係） H28:20組織（水田関係） 30組織（園芸関係） ※H28は見込み				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域農業確立支援事業、園芸産地総合支援事業 （役割分担） 地域農業確立支援事業 農地の集積・集約化を進めるため、農地の出し手への支援を行う。 園芸産地総合支援事業 市場ニーズに応じた野菜・果樹等を安定して供給するため、新たに施設園芸・加工業務用の露地園芸に取り組む営農集団等を支援。	市町との連携状況	市町も事業費の一部を負担をしてもらい事業を推進				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

園芸産地総合支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H22 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等	<input type="checkbox"/>	政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
			[ふくいの農業基本計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
<p>営農集団等に対し、施設園芸や加工・業務用の露地園芸、果樹の産地育成に必要な施設等整備とJA等が産地づくりに必要な共同利用施設の整備に助成し、園芸作物の生産を拡大する。</p>												
[事業内容]												
<p>(新規園芸産地の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸型 新たに施設園芸に取り組む、または産地の核となる営農集団等が規模拡大に取り組むための条件整備 補助率 1/3 ・露地園芸型 新たに加工・業務用の露地園芸を行うための条件整備 補助率 1/3 加工・業務用の生産出荷を行うための共同利用施設整備 補助率 1/3 ・露地果樹型 新たに果樹生産を行うための条件整備 補助率 1/3 <p>(ネクストブランド園芸産地の育成) ※1事業主体の事業実施期間は3年間以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1億円産地づくりに向け、大規模な野菜生産と県内外に出荷するための条件整備 補助率 1/3 ・販売戦略づくり、栽培技術の実証等にかかる経費 補助率 1/2 ・県による企業化支援事業 ビジネスプラン作成講座の開催、経営管理指導等 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移			118,400	119,050	112,710	99,439	89,495	94,414		H29 ネクストブランド園芸産地育成事業採択件数の減 (H26採択分まで完了、H27採択分1か所のみ) くだもの産地育成事業を統合		
2月現計予算額の推移			117,695	115,090	106,710	99,439	87,225					
決算額の推移			115,427	111,255	102,406	95,757						
[成果指標等の推移]												
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	園芸生産額の増加額 (億円)	(目標)				(9.7)	(11.7)	(15.4)		当該事業による増加額 15.4億円 (H20 0億 → H29 15.4億)		
		実績	5.2	6.3	7.9	9.6						
活動指標	事業実施主体数 (うちネクスト主体数)	(目標)				17(3)	19(2)					
		実績	26(6)	30(8)	26(5)	17(3)						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、営農集団、認定農業者、JA等				
予算額	94,414				94,414	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		1/3、1/2				

事業評価

事業名	園芸産地総合支援事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本明志
[事業の必要性・要求の背景]							
県内市場ニーズの高い品目として野菜、果樹等の生産拡大推進に加え、地産外商を進めるネクストブランド園芸産地の育成を継続して推進する。							
[受益者] 園芸を新たに取り組むまたは拡大する営農集団等				[想定される受益者数] 約210組織等			
他県の状況	<p>【富山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1億円産地づくり支援事業 園芸産地の大規模化のため、JA等の施設整備や水田フル活用にむけた栽培実証へ支援 補助率：1/3以内 ・とやまの園芸規模拡大チャレンジ事業 「1億円産地づくり支援事業」の対象とならない産地や品目において、生産者組織等の園芸部門の拡大や新規導入を支援 補助率：1/3以内 <p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業機械施設整備支援事業 担い手の経営規模の拡大や複合化、園芸産地の生産力強化や実需者ニーズ対応等に 必要な機械および施設の導入に対して支援 補助率：1/3以内 			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 収益性の高い水田農業経営確立支援事業 (役割分担) 収益性の高い農業経営への転換を図るため、小規模経営体を含めた営農の広域化と規模拡大に併せた園芸導入を支援			市町との連携状況	市町も事業費の一部を補助し事業を実施		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
新たに園芸生産に取り組む営農集団等に効果的な支援を行い、生産拡大に寄与しており、H26年度からH27年度にかけては、園芸産出額が1.7億円拡大した。		くだもの産地育成事業が28年度で終了したが、更なる果樹の生産振興および作付推進を図るため当事業に統合した。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

越前水仙新規生産者育成緊急対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H29 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金			
[事業目的]											
越前水仙の生産拡大を図るため、平坦地での新たな産地づくりと生産規模の拡大を進める。											
[事業内容]											
1 球根養成機械化整備事業 (H27のみ) 球根掘り上げ、選別、植え付けの機械整備を支援 (実施主体: J A 補助率1/3)				4 出荷拡大支援事業 出荷量拡大分に対する経費の支援 (実施主体: 越前水仙出荷協議会 補助率1/3)							
2 球根増殖支援事業 種球確保、開花球増殖に要する初年目の経費を支援 (実施主体: 営農集団 補助率2/3)				5 販売促進事業 首都圏等の大手生花店を足掛かりとした新規店舗の開拓等 (事業主体: 県)							
3 新規生産者等条件整備事業 新規生産者の栽培開始に要する初度経費を支援 (実施主体: 生産者 補助率1/3)											
[予算額の推移等] (単位: 千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					16,020	13,316	7,241		<ul style="list-style-type: none"> ・選別機、掘取り機等の支援は27年度のみ ・H29は実績等を考慮し事業費見直し 		
2月現計予算額の推移					16,020	5,830					
決算額の推移					9,329						
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	出荷本数 (万本)	(目標)			(260)	(300)	(340)		H29目標 出荷本数 340万本		
		実績		250	278						
活動指標	販売額 (億円)	(目標)			(0.78)	(0.9)	(1)		当該事業による増加額 0.3億円 (H26 0.75億 → H29 1億)		
		実績		0.75	0.71						
活動指標	球根養成組織設立 (組織数)	(目標)			(1)	(1)	(1)		H29目標 球根養成組織設立数 3組織 (累計)		
		実績		0	1	1					
活動指標	新規生産者数 (人)	(目標)			(8)	(8)	(9)		H29目標 新規生産者数 25人 (累計)		
		実績		2	5	9					
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	営農集団等、県				
予算額	7,241				7,241	事業実施方法	補助、直営				
						補助率	県1/3~2/3				

事業評価

事業名	越前水仙新規生産者育成緊急対策事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>従来事業により、集落共同作業組織および新規生産者の育成を進めてきたが、既存海岸部での育成が主であり、今後高齢化や気象条件に対応するため、新たに平坦地での施設栽培を増やす必要がある。</p> <p>既存海岸部の生産規模を確保するとともに、球根供給システムを確立し、平坦地での新たな生産者を緊急確保することにより1億円産地を目指す。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内農家				100戸（新規農家8戸→8戸→9戸計25、既存平坦地農家37戸、既存海岸部農家38戸）			
他県の状況	(出荷本数) ①千葉県4,825千本 ②福井県2,500千本 ③長崎県179千本 ※富山、石川は生産なし (近県の動き) ・石川県は県育成フリージア「エアリーフローラ」があるが、現在は試験的栽培であり、農家に普及して栽培面積を拡大する取組みまでには至っていない。 ・富山県は新たにチューリップ球根生産に取り組む際に必要な初度経費（種球根代、機械リース代等）を支援するとともに、県で育成した品種の増殖に必要な経費、球根の購入費用、機械購入費用を支援	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 越前水仙安定生産支援事業 (実績) ・集落共同作業組織 2組織育成 ・後継者および新規生産者 10名育成				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	越前水仙を栽培している市町と連携しながら事業を推進				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・球根養成組織1組織育成 ・球根120万球掘り上げ（うち開花球40万球） ・開花球40万球を平坦地生産者に配布 ・新規生産者9名育成		球根養成や新規生産者等条件整備にかかる経費縮減		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 6,075
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくい薬膳推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ふくいの農業基本計画]									
[事業目的] 国内産原料の需要が高まっている薬用作物の産地を育成するとともに、料理等への活用により地域活性化を図る。												
[事業内容] ○薬膳料理等の普及支援 ・地域等にあわせた個別コーディネート、加工品開発、PR支援 (実施主体：市町等 補助率 定額) ・薬膳講習会の開催（年1回）、県HP等での定期的な情報提供 (実施主体：県)												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		1,674	1,674	1,674								
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	薬膳提供店舗数(店) (目標) 実績	(3)	(3)	(4)					H32目標 薬膳提供店舗数 10店舗			
活動指標	事業実施主体数 (目標) 実績	(2)	(2)	(2)					2市町/年×3か年 計6市町			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		市町、県				
予算額	1,674	1,674				事業実施方法		補助、直営				
						補助率		定額				

事業評価

事業名	ふくい薬膳推進事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>本県農業の活力増進のため、薬用作物について、新たな特産品として育成するための検証研究等を行ってきた。 今後、薬用作物を新たな特産物として育成するとともに、地域活性化を図るためには、有望品目の普及とあわせて、薬膳への取り組みを行っていく必要がある。</p> <p>このため、薬膳料理に関心のある市町に対して、薬膳料理研究者による個別コーディネート、加工品開発、薬膳PRに対する支援を行うとともに、薬膳講習会を開催し、新たな特産物の育成と地域活性化を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
薬用作物・薬膳料理に関心の高い市町等				6市町				
他県の状況	<p>【富山市】 富山やくぜん普及推進事業（市実施） ・富山やくぜん研修会 ・やくぜん料理教室 ・富山やくぜんfacebook</p> <p>【鳥取県】 薬用作物等生産振興対策事業 ・有望品目等の選定・試作 補助率1/2 ・有望品目の栽培技術確立・実証 補助率1/3 ・加工技術確立・販路開拓 補助率1/3 ・情報共有・連携誘導（県実施）</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名 いきいき里山特産品育成事業 （実績） 検証圃による実証の結果、ゲンノショウコ、カワラヨモギ等が県全域で栽培する作物としては有望であることが明らかとなり、栽培マニュアルを作成した。				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	薬用作物、薬膳に関心の高い市町と連携しながら事業を推進					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

自然光利用型の連棟ハウス整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な産業]			事業 区 分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 H31 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				■ 県単	■ 補助金			
			[ふくいの農業基本計画]				□ その他	□ その他			
[事業目的]											
自然光を利用した大型ハウスによる周年出荷型大規模園芸を支援する。											
[事業内容]											
1 大規模ハウスの建設、栽培装置の導入 補助率 国1/2 県1/10 (市町1/10) 実施主体 農業生産法人、農業生産者集団等 2 経営初期の雇用支援 1,000千円/年を5年間 実施主体 農業生産法人、農業生産者集団等											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		/	120,000	360,000	604,000	280,000	282,000	284,000	H27年 大規模ハウス整備数を3か所/年に増加 H28年 大規模ハウス整備数を5か所/年に増加 H29年 大規模ハウス2か所整備		
2月現計予算額の推移		120,000	120,000	257,541	579,660						
決算額の推移		0	120,000	134,649							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	大規模園芸ハウス産出額 (億円)	(0)	(0.3)	(1.8)	(2.7)	(3.6)	(5.1)	(6.0)	大規模園芸ハウスによる産出額 H32 7億円		
			0.01	1.4							
活動指標	大規模園芸ハウス (箇所)	(1)	(3)	(6)	(11)	(13)	(15)	(17)	H31までに大規模ハウス17箇所(累計)		
		1	3	6	11						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		農業生産法人等			
予算額	280,000	225,000			55,000	事業実施方法		補助			
						補助率		国1/2、県1/10、(市町1/10)			

事業評価

事業名	自然光利用型の連棟ハウス整備事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
園芸産出額の拡大と農業経営の安定を図るため、雇用を取り入れた大規模な園芸施設による周年出荷を行い、競争力の高い園芸産地の育成と農業経営の安定を図る。							
[受益者] 大規模施設で園芸に取り組む農業生産法人等				[想定される受益者数] 17経営体（～H31年）			
他県の状況	新潟県 施設園芸次世代モデル創出事業 園芸用ハウス養液栽培装置等の補助 補助率1/2 富山県 競争力強化生産総合対策 農産物処理加工施設、生産技術高度化施設、集出荷貯蔵施設整備 補助率 1/2	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若手農業者園芸リースハウス整備事業 (役割分担) 若手農業者等へリースする園芸ハウスによる施設園芸を支援	市町との連携状況	市町も県事業に連動した補助を実施				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・26年度に整備した約5,000㎡の大規模園芸施設で、ミディトマトの周年栽培を開始（27年3月より出荷開始） ・同年に整備した約5,000㎡の大規模園芸施設でトマトの周年栽培を開始 ・27年度は、小浜市、若狭町で青ネギ施設、おおい町でイチゴ施設を整備 ・28年度は、青ネギとイチゴの生産開始。5市町でミディトマト等の大規模ハウスを整備中		補助対象件数の減による予算縮減 (H28 5か所 → H29 2か所)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 324,000
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

若手農業者園芸リースハウス整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業開始年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				□ 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
若手農業者や新規就農者が周年出荷を行い、園芸産出額の拡大と農業経営の安定を図るため、JAが若手農業者等にリースする園芸ハウス団地を整備する。												
[事業内容]												
若手農業者園芸リースハウス団地の整備												
内 容 ハウス団地整備、共同利用機械のリース導入等（2か年／箇所） 補助率 国1／2 県1／10（市町1／10） 実施主体 JA												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	主な増減理由			
当初予算額の推移			39,000	96,600	96,600							
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ハウス団地産出額（億円）	(目標)		(0.1)	(0.5)	(0.8)	(1.0)		ハウス団地による産出額 H33 1億円			
		実績										
活動指標	ハウス団地整備（箇所）	(目標)		(1)	(2)	(3)	(3)		H32までにハウス団地3箇所（累計）			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		JA				
予算額	39,000	32,500			6,500	事業実施方法		補助				
						補助率		国1/2、県1/10、（市町1/10）				

事業評価

事業名	若手農業者園芸リースハウス整備事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
園芸産出額の拡大と若手農業者の農業経営の安定を図るため、ハウス団地による低コスト生産を行い、競争力の高い園芸産地を育成する。							
[受益者] 若手農業者等				[想定される受益者数] 約20名（6～7名/箇所×3箇所）			
他県の状況	【新潟県】 新潟県農林水産業総合振興事業 園芸用ハウス、機械整備に対する支援 等 補助率 ハウス 4.5/10（中山間1/2） 機械リース 3/10（中山間1/3）			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自然光利用型の連棟ハウス整備事業 （役割分担） 自然光を利用する大規模ハウスによる通年出荷型の大規模施設園芸を支援			市町との連携状況	市町も県事業に連動した補助を実施		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「福井県産そば」産地競争力強化事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政 策	ビジョン [元気な産業] 策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]			事 業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等	<input type="checkbox"/>		ふくい農業基本計画									
[事業目的] 福井県産そばの産地競争力を高め、県産そばの消費拡大を図るため、全国に福井県産そばの魅力を積極的に発信する。 さらに、県産そばの市場競争力を獲得するために、他産地に先駆けて食の情報発信力の高いパリで福井県産そば粉の利用店を開拓し、ブランド力を高めるとともに、国内の食に関心の高い女性をターゲットとした需要開拓を行う。												
[事業内容] 競争力強化事業（実施主体：福井そばルネッサンス推進実行委員会 補助率 1/2、定額） ○福井県立大学と連携し福井県産そばの「プレミアムブランド」を開発 ・天日干しや雪室貯蔵を活用した高付加価値のそばを開発 ・「もりそば」など素材の味を味わえるメニューで提供 ○福井を日本一のそば処としてPR ・郷土そばシンポジウムを県内で開催し、そば産地の核としてPR ・雑誌記者向けのそば処セミナーを首都圏で開催 ○全国規模のイベントを県内で実施してそば処をPR ・「第22回全日本素人そば打ち名人大会」の決勝大会を開催 ・片山虎之介氏と連携したそば処福井の情報発信												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		9,125	9,125	9,125					H29 国庫事業を活用 （「プレミアムブランド」開発、郷土そばシンポジウム 等）			
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県産そば販売額（億円） （目標） 実績	(5.3)	(5.5)	(6.0)					福井県産玄そばの販売額（種子・自家消費除く）			
活動指標	そば関連イベント参加者数（人） （目標） 実績	(700)	(800)	(900)					全日本素人そば打ち名人大会、郷土そばシンポジウム等のイベントへの参加者数			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井そばルネッサンス推進実行委員会				
予算額	9,125	6,475			2,650	事業実施方法		補助				
						補助率		県1/2、定額				

事業評価

事業名	「福井県産そば」産地競争力強化事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>福井県はそば作付面積全国第5位(H28)の全国有数のそば産地であり、品質が高いことから県外への玄そば販売量も増加している。しかし、一般消費者にはそば処としての認知度は低く、県内での玄そば販売量は伸び悩んでいる。</p> <p>そこで、福井県産そばの産地競争力を高めるため、県産そばのブランド化とそば産地としてのPRを進めるとともに、海外において新たな需要の開拓を行うことで、福井県のそば処としての認知度を向上させ、県産そばの需要量増加・生産振興を図る。</p>							
[受益者] 県内そば生産者、実需者（そば店等）				[想定される受益者数] 1,550経営体			
他県の状況	(そば主産県) 【山形】 そばの生産振興関連事業 ・実証圃設置、新系統の採種圃設置、協議会活動費補助 【福島】 そばの生産振興、6次化支援事業 ・作業委託費の補助、成分分析・視察経費の補助、商品開発の補助 【茨城】 中山間地域振興事業 ・首都圏で「常陸秋そばフェア」を開催（首都圏のそば店で食数限定で「常陸秋そば」を提供）、県内そば店スタンプラリーの実施 【長野】 「信州ひすいそば」の生産振興と販売促進事業 ・栽培講習会、実証圃設置、そば打ち講習会、PR活動経費			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井そばブランド確立事業（H26～28） (実績) 越前おろしそばの食文化発信や県産そばの販路拡大の結果、名人大会の参加者は約500人まで増加した。 また、全国のそばに精通する伝統食文化研究家 片山虎之介氏と連携し、複数の雑誌（サライ、旅の手帖等）において福井のそばについての記事を掲載するとともに、そば好きが訪れるHP等で在来種そば王国福井を紹介する記事を掲載し、広く福井そばの魅力をPRできた。		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	生産面では、国の制度（経営所得安定対策等）を活用して、そば生産者への支援を行っている。 また、福井そばルネッサンス推進実行委員会において、市町と情報共有を図るとともに、そばのブランド化に向けた検討を行っている。加えて、各地域のそばまつり開催に対し市町が支援することにより、全県下においてそば産地福井の情報発信を行っている。		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

水田営農条件整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度 経過 年数	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				□ 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
水田農業の所得向上を図るため、農業者団体による農業用施設の整備を支援する。												
[事業内容]												
○水田農業用施設の整備												
精米施設の整備 (H28) 補助率 国1/2 実施主体 農業者団体等												
種子用乾燥施設の整備 (H29) 補助率 国1/2 実施主体 農業者団体等												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移			336,652	—	—	—	99,306			・当事業は要望に応じて予算化 (H26, H27は要望なし) H25 2か所 (うち1か所はH26へ繰越) H28 1か所 12月補正【経済対策】 H29 1か所		
2月現計予算額の推移			236,934	99,718	—	54,461						
決算額の推移			194,295	99,718	—							
[成果指標等の推移]												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標		(目標)								本事業は農業用施設の整備を支援する事業であり目標の設定は困難		
		実績										
活動指標	実施地区	(目標)	(1)	(1)		(1)	(1)					
		実績	1	1								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	農業者団体等					
予算額	99,306	99,306				事業実施方法	補助					
						補助率	国1/2					

事業評価

事業名	水田営農条件整備事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
水田農業において、生産規模に応じた施設の導入、コスト削減や品質向上・付加価値向上に資する集出荷施設や加工施設等の導入費用を助成することにより、コスト削減と販売額拡大を進め水田農業の所得拡大を図る。							
[受益者] 事業実施地区の受益地内の農業者				[想定される受益者数] 1 経営体 (H29)			
他県の状況	富山県 水田農業生産振興対策事業 カントリーエレベータの改修等の補助 補助率1/2			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
H28 精米施設の整備に対し支援 こだわり米等の高値直売を行い所得拡大を図る				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「ポストこしひかり」生産対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
			[ふくい農業基本計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
平成30年度から本格生産を行う「ポストこしひかり」について、国内トップランクの評価を確立するために、栽培指針に基づいた栽培の検証および普及拡大のための実証圃を設置し生産指導を行うとともに、販売力の向上のため実需に対応した高品質・高食味の地域ブランド米生産体制を整備する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○テスト生産圃場の看板設置 ○H30の本格生産に向け、県域で栽培技術説明会を開催 ○本格生産のための普及拡大実証圃設置と生産指導 <ul style="list-style-type: none"> ・普及拡大実証圃 25か所設置 ・穀物検定協会評価 特A評価獲得 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					1,754	4,993	3,179			H28のみ種子増殖圃設置が必要		
2月現計予算額の推移					1,754	4,993						
決算額の推移					1,667							
[成果指標等の推移]												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	ポストこしひかり生産量 (t)	(目標) 実績					(600)	(10,000)		H29 テスト生産販売 H30 本格生産販売開始 (生産・販売量はふくいブランド米推進協議会で決定)		
活動指標	現地実証圃 (箇所数)	(目標) 実績			(5) 5	(25) 25	(25)			H29 普及拡大実証圃 (県内25か所)		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	3,179				3,179	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

事業評価

事業名	「ポストこしひかり」生産対策事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>国内トップランクのブランド米としての品質を確保するためには、栽培指針に基づいた生産指導とあわせて、年ごとの気象や生育変化に対応した技術情報を提供することが必要である。</p> <p>技術情報を提供するため、実証圃を設置し生育調査を行うとともに普及拡大のための圃場として農業者に展示し、平成30年度の本格生産に向け、生産量を確保する必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
水稻生産者				1,120経営体			
他県の状況	<p>【近年品種登録または登録出願された品種】</p> <p>北海道 ゆめぴりか（H23登録）</p> <p>山形 つや姫（H23登録）</p> <p>秋田 秋のきらめき、つぶぞろい（H26登録）</p> <p>青森 青天の霹靂（H26出願）</p> <p>新潟 新之助（H27出願）</p> <p>【品種登録出願予定】</p> <p>岩手 岩手107号（H27） 岩手118号（H29）</p> <p>山形 山形112号（H27）</p> <p>福島 福島30号（H27）</p>	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 1 「ポストこしひかり」ブランド化事業 2 「ポストこしひかり」有機栽培等拡大事業 (役割分担) 1 平成30年の「ポストこしひかり」販売に向けて、本格的なPRを開始し、首都圏等における知名度向上を図る 2 除草、代かき、深水管理など有機栽培技術の現地実証有機栽培現地講習会の実施	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・現地実証栽培圃 5カ所設置 (現地大規模実証圃 20カ所設置) ・ポストこしひかり候補 1種に絞り込み ・種子増殖圃設置 120ha分の種子確保		・本格生産に向け、技術情報を提供するための普及拡大実証圃を設置 ・テスト生産圃場に看板を設置し、広くPRを実施 ・種子確保に要する経費の縮減		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,814
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

「ポストこしひかり」有機栽培等拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
			[ふくいの農業基本計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
「ポストこしひかり」の有機栽培技術の普及実証を行い、有機栽培米や無農薬無化学肥料栽培米の生産販売を拡大する。												
[事業内容]												
<p>○有機栽培等技術の普及実証（5地区×10か所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除草、代かき、深水管理など有機栽培等技術を現地実証 ・除草機リースへの支援 <p>○有機栽培、無農薬無化学肥料栽培の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の掘り起し、有機栽培等部会設置 ・有機栽培等講習会開催 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						3,497	3,075	3,075				
2月現計予算額の推移						1,680						
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	有機栽培ポストこしひかり栽培面積 (ha)	(目標) 実績				(0)	(10)	(200)		ポストこしひかりの作付面積の1割		
活動指標	現地実証圃 (箇所数)	(目標) 実績				(50)	(50)	(50)		50箇所 (5地区×10箇所)		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	JA					
予算額	3,075				3,075	事業実施方法	補助					
						補助率	県1/2					

事業評価

事業名	「ポストこしひかり」有機栽培等拡大事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>全国の米産地から新品種が登場し食味ランキング「特A」を獲得する銘柄が増えている。 百貨店や高級スーパーからのニーズが高く、ポストこしひかり全体の評価を引き上げ高級ブランド米のイメージアップ確立につながる高付加価値商品として、有機栽培米や無農薬無化学肥料栽培米を位置づけることが必要。</p>							
[受益者] 水稻生産者				[想定される受益者数] 1,120経営体			
他県の状況	(全国の状況) 水稻の有機JAS認証面積の割合は、全国では0.2%。本県も0.2%。0.2~0.3%の県が多い。 有機栽培米は、百貨店の店頭価格で減農薬減化学肥料栽培の1.5倍程度の価格で販売されている。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 1 「ポストこしひかり」生産対策事業 2 「ポストこしひかり」ブランド化事業 (役割分担) 1 テスト生産圃場の看板設置 H30の本格生産に向け県域で栽培技術説明会を開催 本格生産のための普及拡大実証圃設置と生産指導 2 平成30年の「ポストこしひかり」販売に向けて、本格的なPRを開始し、首都圏等における知名度向上を図る	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
有機栽培等技術の普及実証 50か所設置		現地講習会の回数見直しに伴う経費縮減		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 422
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井県大3号（ふくこむぎ）生産拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志		
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H29 年度	H29 年度	
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金					
			[ふくい農業基本計画]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]													
新たな需要に応じた麦の作付けを推進するため、福井県大3号の栽培技術の普及と生産の拡大を図る。													
[事業内容]													
1 福井県大3号（ふくこむぎ）の生産拡大 ・福井県大3号 穂肥施用省力化技術栽培展示圃の設置 ・栽培マニュアルの作成および生産農家に対する栽培講習会の開催 2 福井県大3号（ふくこむぎ）の利用促進 ・福井県大3号を使った新商品求評会の実施													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移							1,123	1,115					
2月現計予算額の推移							1,123						
決算額の推移													
[成果指標等の推移]													
区 分			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井県大3号の作付面積 (ha)						(120)	(150)	(200)	H30 作付面積 約200ha 生産量 500t			
							139						
活動指標													
[財源内訳・事業主体等]													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県						
予算額	1,115	1,115				事業実施方法	直営						
						補助率	—						

事業評価

事業名	福井県大3号（ふくこむぎ）生産拡大事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>【現 状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年に新たな小麦品種「福井県大3号（ふくこむぎ）」が福井県立大学で育成され、品種登録された。 ・平成24年以降現地での農業試験場および現地での栽培試験をつづけ、栽培技術が確立し収量が安定してきた。 ・現在、JA永平寺、JA福井市管内を中心に139ヘクタールで栽培、パンや中華麺に加工され、一部の県内飲食店にて販売されている。 <p>【課 題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンパク含量を高めるため、穂肥を多く施用する必要がある、散布にかかる省力化が現場から求められている。 ・福井県大3号の特性が実需者に理解されておらず、県内実需者の利用が進んでいない。 							
[受益者] 県内の農業者				[想定される受益者数] 30生産者			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・穂肥省力化技術栽培実証圃設置 ・福井県大3号小麦粉サンプルの配布、試作の実施 ・県産小麦利用拡大協議会の開催		・穂肥省力化技術栽培実証結果を踏まえ、栽培マニュアルの作成および生産農家に対する栽培講習会を開催する。 ・福井県大3号を使った試作商品について、商品化に向けた新商品求評会を実施する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 8
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

もち性大麦生産拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
新たな需要に応じた麦の作付けを推進するため、もち性大麦の栽培技術の普及と生産の拡大を図る。												
[事業内容]												
1 もち性大麦の生産拡大 ・高βグルカン栽培技術実証圃の設置（2か所） ・栽培技術検討会の実施 2 もち性大麦の利用促進 ・品質、加工適性分析 ・加工業者による商品試作、加工特性評価 ・実需者との連携による新商品開発												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移							1,109	1,109				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	もち性大麦作付面積 (ha)	(目標) 実績					(4)	(150)	(900)	H31 作付面積約900ha 生産量 2,000t		
活動指標		(目標) 実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,109	1,109				事業実施方法	直営					
						補助率	—					

事業評価

事業名	もち性大麦生産拡大事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奨励品種決定調査によりもち性大麦「北陸皮糯58号」を有望視。平成29年産として大野市に約4ヘクタールを播種。 ・ 中央農業研究センターより系統種子の提供を受け、農業試験場にて平成29年産として原原種を栽培。 ・ 国内流通のもち性大麦のほとんどが外国産麦であり、国産もち性大麦の需要が高まっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ βグルカン含有量を高めるため追肥を行う必要があり、栽培技術の確立が求められている。 ・ 福井県産もち性大麦の需要拡大に向け、実需者等との連携による商品開発を行う必要がある。 							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の農業者							
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

飼料用米の低コスト生産拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				<input type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
福井県における生産に適する飼料用品種を選定し、低コスト栽培技術とともに普及することで、水稻生産者の作業性・所得の向上を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○飼料用米の新たな品種の選定 現地栽培実証圃の設置 ○低コスト多収技術の実証と普及 直播技術実証圃の設置 現地検討会の開催 栽培マニュアルの作成 												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						2,130	2,130					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	多収品種の選定数 (種)	(目標)				(1)	(1)		多収で県内での生産に適した品種			
		実績										
活動指標	実証圃設置数 (箇所)	(目標)				(6)	(6)		品種選定および低コスト栽培の現地実証			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		福井県農業再生協議会				
要求額	2,130	2,130				事業実施方法		補助				
						補助率		10/10				

事業評価

事業名	飼料用米の低コスト生産拡大事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>県内における飼料用米の作付面積は拡大しているが、県内で普及している多収品種はいもち病に弱く収量減や防除費用の増大が心配される。また、既存の多収品種は晩生であるため「ポストこしひかり」と作業が競合し、30年以降の本格生産に備えて作期の異なる品種の導入が必要である。販売単価の安い飼料用米の取組においては、生産コストを削減し所得の向上を図る必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
飼料用米生産農業者				約400人			
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	県と市町が連携し、飼料用米の生産に取り組む農業者に対して国の助成制度に関する情報の提供や、取組申請手続きにかかる支援を行っている。		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

園芸拠点施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]				□ 県単	□ 補助金				
[事業目的]												
薬草等を活用した新たなビジネスの実証・展示や園芸に関する体験・学習を行う施設を園芸研究センターに整備する。												
[事業内容]												
全体	・ 基本計画策定、測量調査設計、土地造成に係る実施設計、用地の取得および造成、その他（道路フェンス、外灯等の整備）											
薬草エリア	・ 薬草展示園の整備（園地造成・園地植栽） ・ 園地管理備品整備											
学習エリア	・ 園芸LABOの整備（薬草や農産物の加工を体験できる施設） ・ 展示ハウスの整備（体験で用いる花や珍野菜等の展示用ビニールハウス） ・ 福井ゆかりの果樹園（福井県ゆかりの果樹の展示）											
交流エリア （美浜町）	・ 直売所の整備（地域の農林水産物・加工品、ハーブや薬草グッズの販売） ・ レストランの整備（薬膳料理や伝承料理を提供） ・ 交流広場の整備											
<H29事業内容> ・ 用地の取得および造成 ・ 薬草展示園の整備 ・ 園芸LABO施設等の整備に向けた実施設計												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	25年度	26年度	26年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移				34,008	375,836	556,241		H28 基本計画策定、測量調査設計、土地造成に係る実施設計 H29 用地取得、造成、薬草展示園の整備、園芸LABOの実施設計 H30 園芸LABO、展示ハウス、果樹園等の整備				
2月現計予算額の推移				29,852								
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	26年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	来場者数目標	(目標)						(H33 10万人)				
		実績										
活動指標		(目標)						本事業は、施設整備を進める事業であり目標の設定は困難				
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	375,836	294,704			81,132	事業実施方法		直営				
						補助率		-				

事業評価

事業名	園芸拠点施設整備事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
薬草の栽培（薬草展示園）、薬草等を活用した体験・学習（園芸LABO、展示ハウス等）の施設と食の施設（直売所、レストラン）を美浜町と連携して整備することにより、薬草の研究から新たな産業化までを一体的に支援するとともに、観光・集客による嶺南地域の活力向上に結びつける。							
[受益者] 県内外の訪問者				[想定される受益者数] 約10万人			
他県の状況	<薬用植物園を所有する都道府県> ・東京都：東京都薬用植物園（S21設立） ・富山県：富山県薬用植物指導センター（S42設立） ・宮崎県：宮崎県総合農業試験場薬草・地域作物センター（H13設立）			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	施設内容や施設整備の役割分担等について、園芸拠点施設基本計画策定委員会（美浜町委員を含む）を4回開催し、計画策定のための協議を実施		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
28年度は薬草展示園、園芸LABO等の整備に向けた基本計画を策定 H28 基本計画策定 測量調査設計 土地造成に係る実施設計		整備に向けた用地造成、施設の実施設設計等を実施 H29 用地取得、造成 薬草展示園（実施設計、造園工事） 園芸LABO（実施設計）		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

若狭牛・高能力乳牛導入支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 3 年	事業終了予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			政策 [「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ]								
[事業目的]											
若狭牛や高能力乳牛への転換を支援し、県産畜産物の生産・販売の拡大および収益性の高い経営の実現を目指す。											
[事業内容]											
1 若狭牛や高能力乳牛への転換に要する経費 補助率 県1/2											
2 畜種転換等に対応する際に必要な施設の再整備 補助率 県1/3											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				40,459	43,209	47,081	17,089	若狭牛 H27~H30 高能力乳牛 H27~H31 (H30以降の予算額は、H27実績を反映した見込額)			
2月現計予算額の推移			26,805	21,120							
決算額の推移			9,748								
[成果指標等の推移]											
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	若狭牛出荷頭数(頭)	(目標)		(500)	(500)	(534)	(650)	(684)	37年度 1,000頭出荷		
		実績									
成果指標	福井県産牛乳生産量(t)	(目標)		(7,000)	(7,000)	(7,072)	(7,472)	(7,872)	39年度 8,000t生産		
		実績									
活動指標	若狭牛導入頭数(事業活用)	(目標)		(100)	(150)	(150)	(166)	—	4年間500頭 (H27 34頭、H28 150頭、H29 150頭、H30 166頭)		
		実績		34							
	高能力乳牛導入頭数(事業活用)	(目標)		(25)	(50)	(50)	(50)	(66)			
	実績		9					5年間225頭 (H27 9頭、H28~H30 50頭ずつ、H31 66頭)			
施設再整備(事業活用)	(目標)		(2)	(4)	(4)	(4)	(4)				
	実績		2								
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	市町				
予算額	43,209				43,209	事業実施方法	補助				
						補助率	1/2、1/3				

事業評価

事業名	若狭牛・高能力乳牛導入支援事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>交雑種肥育農家は、国からの赤字補てんを得て経営を継続している。 自力での経営継続が可能な和牛肥育に転換しようにも、高価な和牛子牛導入経費や肥育期間延長に伴い増加する飼料費など、転換に伴うかかり増し経費を確保できない。 「福井県産牛乳」は、市場から増産を望まれ既存乳処理施設において増産対応可能であるが、原料の県産生乳の減産が続いている。住宅地との混在化が進んでおり、酪農家の規模拡大による増産はできない。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
畜産農家、県民							
他県の状況	石川県 能登牛増頭支援 定額（100千円／頭） 富山県 とやま和牛増頭支援 定額（50千円／頭） 滋賀県 近江牛増頭支援 定額（100千円／頭）	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 畜産経営安定化支援事業 (実績) 担い手確保活動、6次化支援、繁殖用牛等の導入や機械、施設の整備に対し支援し、畜産農家の経営基盤強化が図られた。				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
若狭牛・高能力乳牛への転換や畜種転換等に伴う施設整備について、3市町を通じて支援を行った。 今後も若狭牛および高能力乳牛への転換を推進するため、県肉用牛協会やJA、農家を巡回し事業の推進を図る。		変更なし		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新しい地鶏振興事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 ■ 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ぶくいの農業基本計画]									
[事業目的]												
卵も肉もおいしい新たな県産地鶏を県内においてPRするとともに、新たに生産を始める農家などへの生産振興を図り、県産ブランド地鶏の認知度を高める。												
[事業内容]												
○菓子店を中心とした「地鶏たまご」の提供（事業主体：県）												
○直売所や農家レストランにおいてPRを実施（事業主体：県）												
○新規農家や増羽にかかる施設改修等を支援（事業主体：養鶏農家） 補助率 1/3												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						1,974	1,974	1,974				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農家数 (目標) 実績					(8)	(10)	(12)	H32目標 14戸			
	生産額(千円) (目標) 実績					(18,000)	(25,000)	(30,000)	H32目標 35,000千円			
活動指標	取扱店舗数 (目標) 実績					(35)	(45)	(55)	H32目標 60店 (たまご：45店 [道の駅・菓子店等]、地鶏肉：15店 [飲食店])			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、養鶏農家				
予算額	1,974			100	1,874	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		1/3				

事業評価

事業名	新しい地鶏振興事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成26年度から畜産試験場において開発した卵肉兼用種の新しい地鶏の特徴を生かしながら、飼育される環境や飼料にもこだわった卵を県民に広く知ってもらい、消費拡大と愛されるブランドとして生産振興を図る。</p> <p>一般的な採卵鶏と違い自由に動き回り、食べ、飲み、眠る以外の土遊びや探査欲求、収巢欲求などの鶏が持つ本能行動を満たすことにより、健康で鶏自身が幸福を感じる卵、その卵はしっかりと弾力があり黄味のうま味がある。</p> <p>こうした特徴を広く県民にPRし、付加価値の高い特別な卵として県産ブランド地鶏の認知度を高める。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
畜産農家、県民							
他県の状況	こうちの地鶏生産基盤拡大事業（高知県） 予算額：10,000千円 補助率：1/2 上限1,500千円 ・飼育農家支援の強化 ・販売拠点づくりの継続			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

三ツ星若狭牛PR事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ぶくいの農業基本計画]									
[事業目的]												
平成26年度より認証制度がスタートした三ツ星若狭牛など県産畜産物の認知度向上を図るため、県内外に向けてPRを行う。												
[事業内容]												
県産畜産ブランドの認知度向上と消費を促すためのPR強化 ・イベントを利用した食材紹介、試食PR ・マッチング商談会（料理のデモンストレーション、シェフによるレシピの発表・試食、食材PR商談 等）												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移			4,118	3,398	3,148	697	697	697	H29 関係団体への補助金見直しによる減額			
2月現計予算額の推移			4,118	3,398	3,148							
決算額の推移			3,768	3,112								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	三ツ星若狭牛生産額（千円）	(目標)	(50,000)	(200,000)	(200,000)	290,000	330,000	360,000	H32目標 3.8億円			
		実績	151,000	250,000								
活動目標	三ツ星若狭牛取扱店舗数	(目標)	(30)	(60)	(90)	(125)	(150)	(175)	H32目標 200店舗			
		実績	35	70								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
要求額	697				697	事業実施方法		直営				
						補助率		—				

事業評価

事業名	三ツ星若狭牛PR事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志
[事業の必要性・要求の背景]							
随時開発流通されるブランド畜産物を若狭牛やふくいポークのように認知してもらうことにより、儲かる畜産に結び付け、更なる県民の消費拡大と、ふくい国体や新幹線開通に向けたおもてなし食材として提供できるよう、地元で愛されるブランドとして知名度向上を図る。 (H29 地鶏たまご H30 地鶏肉、新ふくいポーク)							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民							
他県の状況	能登牛販売促進PR事業（石川県） 予算額：1,300千円 協議会への補助 （パンフレット作成等） ・生産出荷体制の強化 ・販売促進・PR活動の展開による認知度向上 県産畜産物PR事業（富山県） 予算額：400千円 ・県産牛、県産豚の販売促進・PR活動の展開による認知度向上	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
平成26年7月12日より三ツ星若狭牛を販売開始し、県内を中心に販売促進活動を実施 (H27実績) 三ツ星若狭牛提供店舗数 70店舗 三ツ星若狭牛販売頭数 215頭 三ツ星若狭牛販売額 2億5千万円		関係団体への補助金見直しによる予算縮減		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 2,451
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区 分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]									
[事業目的] 中部縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通を契機として、六呂師高原における自然体験やスポーツ等による観光誘客拡大、地域の活性化を図る。												
[事業内容] ミルク工房奥越前の機能向上 ・ 奥越高原牧場の生乳を利用した新たな商品の製造・販売 ・ 賑わいイベント、バーベキュー等で利用するオーニング等の整備 ・ 六呂師高原入口のシンボリックな施設として景観を演出するための外壁・タイル改修等												
(単位：千円)												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						5,272				H29当初要求 25,418千円 ⇒H28.2補正前倒し（地方創生拠点整備交付金を活用）		
2月現計予算額の推移						30,690						
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	ミルク工房への来場者 (人)	(目標) 実績		8,700	10,000	(10,000)	(13,000)	(15,000)	(17,000)	年間8,700人(H26)→13,000人(H29)→17,000人(H31) (加工体験、レストラン利用)		
活動指標	放牧期間の拡大	(目標) 実績		5か月	5か月	(6.5か月)	(7.5か月)			現状(H27) 5か月間(5月中旬～10月中旬)の放牧 →早春1か月、晩秋1.5か月拡大(H28は晩秋のみ拡大)		
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	25,418	12,709	12,000		709	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

事業評価

事業名	六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業	部局名	農林水産部	課名	生産振興課	課長名	山本 明志	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>平成28年度の中郡縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通を契機として、奥越地区の中でも雄大な自然を有する六呂師高原にスポーツ施設や周辺環境の整備を実施し、奥越の周遊観光拠点となる地域づくりを行い、自然やスポーツ、様々な体験等による観光客の誘致拡大を図る。</p>								
[受益者] 県民、観光客				[想定される受益者数] 17,000人/年				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業 (観光営業部) (役割分担) 中郡縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通を契機として、六呂師高原における自然体験やスポーツ等による観光誘客拡大、地域の活性化を図る。 事業内容 六呂師高原スキー体験施設の人エゲレンデ整備			市町との連携状況	大野市と連携した誘客力向上策の提案			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
H27ミルク工房利用者数 (加工体験数+レストラン利用者数) 10,027人		ミルク工房への誘客力強化			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
放牧期間の延長 5月16日～11月30日					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	